

# 疼痛患者のための痛み表現支援ツール

小川翔太 大矢涼介 類家里香

## 背景 医師と疼痛患者のコミュニケーションの困難さ

慢性疼痛をかかえている日本の成人……22.5%<sup>[1]</sup>

医師に痛みを上手く表現できなかった人……74.7%<sup>[2]</sup>

痛みを表す言葉が見つからない

いつ、どこが、どんな痛みが正確に思い出せない

「ズキズキ」などのようなオノマトペを使って痛みを表現した時  
手応えがあった人

80.7%

[1] ムンディーファーマ株式会社, 2004年, 『痛みに関する大規模調査』  
[2] ファイザー株式会社, 2013年, 『47都道府県比較・長く続く痛みに関する実態調査2013』

## 提案 オノマトペ・比喩表現による痛みの表現・記録

### 疼痛患者のための痛み表現支援ツール「おのまとぺいん」

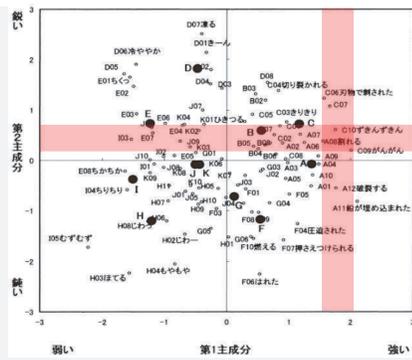
#### 痛み表現変換アルゴリズム

##### 先行研究<sup>[3]</sup>

96種類のオノマトペ・比喩表現に関する認知心理学的観点からの検討

- ・強さ×鋭さ
- ・部位×深さ
- ・強さ×広さ

これらの成分ごとにオノマトペをマトリクス上に配置



[3] 痛みの比喩表現の身体感覚と認知の構造, 梶原 孝ら, 2010

このマトリクスを用いて、患者の入力した情報をもとに適切な表現を選出  
例えば、患者が選択した値が「赤のラベル」のところであった場合

- 「ズキンズキン」
  - 「ガンガン」
  - 「割れるような」
- を選出する

上記のように3つのグラフから表現の候補を選出し、重複したものや、より値の近かった表現を優先的に表示

### 機能1 痛みのオノマトペ・比喩表現表示

患者の痛みの状態から、痛みにもっとも適した表現を提示

「痛みをオノマトペで表現」を選択

疼痛が起こった時の時間や、状況、部位を入力

痛みの強さ鋭さ深さを入力し、適切な表現を選択

入力した情報を一覧表示し、記録

### 機能2 ログ機能

医師に痛みを正確に伝えることを支援、慢性疼痛患者の毎日の痛みも記録

「記録を見る」を選択

記録内容をカレンダー上に表示、確認したい記録を選択

過去の詳細な情報を表示

## 展望

- 手以外に選択可能な部位の拡張
- ユーザ評価を行い、インターフェースの最適化・アルゴリズムの改善